

大阪城

2023
1/26 (木)
14325
エ

全港湾
西成分会

2247
6647-
4947

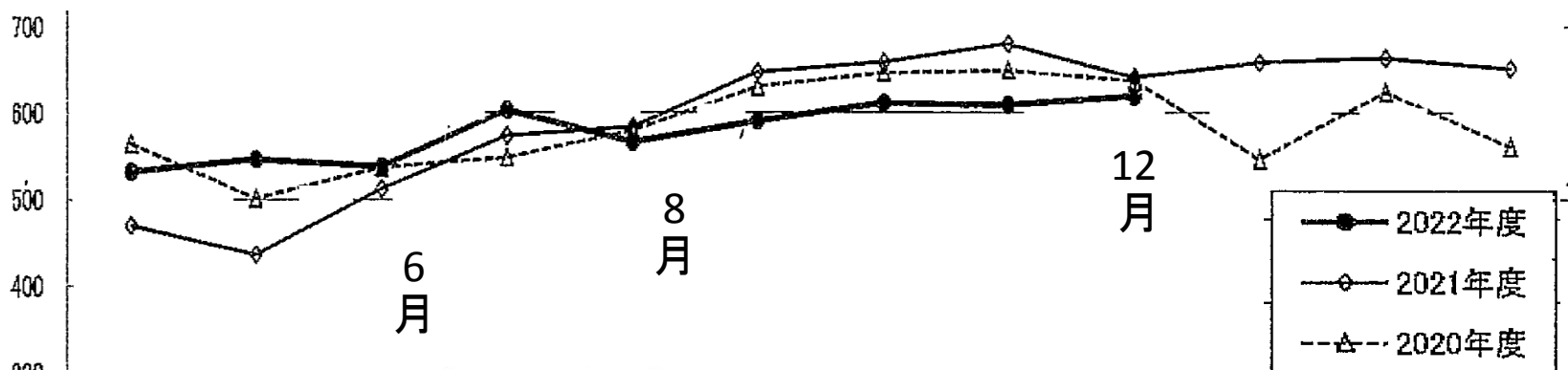
変化はやむことはない。冬から春への
中の厳冬。あと一ヶ月だろう。

日本の経済や社会も大きな転換期に突入
しているようだ。2/8ころには、新しい日本銀行の
総裁の名前を出し、黒田・安倍政策に終りを
つけるようだ。今から30余年前、1990年ころ、
アメリカから内需拡大を突きつけられ、日本国内は
土地の値上りをはじめバブルで燃え上っていた。

しかし、それを、日銀の金利引き上げによって消し
去り、バブルは山崩壊した。それから低成長デフレし
の流れは、グローバル化した世界の中でも続ってきた。
10年ほど前に再登場した第2次安倍政権により
異次元の金融緩和で、黒田日銀と安倍政治の
結合で、金利をゼロにして、国債を多発し、紙幣を
市中に放出してきた。デフレからの脱却といって。

世界はグローバルの流れが止まり、分断へ動き、
資源・食糧などが値上りし、世界的インフレーションの大波
が日本にもおしよせている。100兆円以上の借金・国債
をかかえて、日本銀行に選取肢はないといわれる。
山岸田政権、そして日銀が、経済と日本社会をどうして
行くのか、注目される流れに入っているといえるだろう。

全港湾地本は昨日春闘討論集会をもちました ことしの春闘、みんなの力を合わせてなんとか賃上げを 現金求人 は厳しいままです



令和4年度(2022年度)相対方式契約雇用求人状況

西成労働福祉センター調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
2022年度	532	546	538	603	566	590	611	609	619				579
2021年度	470	436	512	573	583	647	659	680	641	659	664	652	598
2021年度比	13.2%	25.2%	5.1%	5.2%	-2.9%	-8.8%	-7.3%	-10.4%	-3.4%				-3.1%
2020年度	564	501	537	548	579	630	646	649	637	546	624	561	585
2020年度比	-5.7%	9.0%	0.2%	10.0%	-2.2%	-6.3%	-5.4%	-6.2%	-2.8%				-1.0%